

## 事業者向け 放課後等デイサービス評価表

・職員13名が回答しました。

ケアステーション県央

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	13	0	0	0	・必要なスペースは確保している。 ・雨天時はかけ干しの車椅子も収納するので利用者数によっては狭く感じる。
	②	職員の配置数は適当であるか。	13	0	0	0	・必要な職員数は配置している。 ・基準は満たしているが、長期休暇は利用者が増えるので職員の手が欲しい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	13	0	0	0	・施設内はすべてバリアフリーとなっている。 ・施設の老朽化に伴い、訓練後の機会などで普段以外でも確認している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参画しているか。	13	0	0	0	・全職員が参画している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	13	0	0	0	・評価内容が出た後、会議等で周知・改善に繋がっている。 ・年に1回アンケート調査を実施し、結果は全職員で確認している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	13	0	0	0	・ホームページで公開している。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	13	0	0	0	・施設内・外の研修の機会を確保し、適した職員がその都度参加している。 ・各種研修に参加している（リモートも含む）
適切な支援の提供	⑧	子どもと保護者の要望や課題を配慮した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	0	0	・できる限り要望や課題を反映させた計画を作成している。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか。	13	0	0	0	・計画に沿った支援を心掛けている。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	0	0	・育生職員中心に立案し、TCなどで他の職員にも意見を出してもらっている。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	0	0	・活動ごとに反省し、その都度内容を検討している。 ・2～3週おきに違う内容の活動を実施、その中でもやり方を変えたり日々工夫している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	0	0	・個に応じて計画を作成している。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	13	0	0	0	・朝礼で打ち合わせをしている。
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	0	0	・反省会で振り返りを行い、翌日以降の支援につなげるようにしている。 ・もっと具体的に、一人ひとりに沿った反省や翌日につなげられるような振り返りができるようにしたい。
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の振り返り・改善につなげているか。	13	0	0	0	・記録は必ず取っている。 ・看護、育生両方で記録をしている。
関係機関や保護者との連携	⑯	定期的なモニタリングをおこない、放課後等デイサービス計画の見直ししているか。	13	0	0	0	・半年に一回、評価と見直しを行っている。
	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参画しているか。	13	0	0	0	・児童発達支援管理責任者が参画している。
	⑱	学校との情報共有（支援方針など）を適切に行っているか。	13	0	0	0	・送迎時は普段の連絡を、また定期的に担当者会議をしている。 ・必要に応じて行っている。

※次ページにも記入をお願いします

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点等
関係機関や保護者との連携	⑱	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、医療的に配慮すべき点について情報を得ているか。	13	0	0	0	・事前に情報を得た上で受け入れている。 ・家族に確認を行っている。
	⑲	就学時や卒業時などライフステージの移行時には、保育園や学校、障害福祉サービス事業等と連携をとり情報共有を図っているか。	13	0	0	0	・関係各所と情報共有を図っている。 ・それぞれのタイミングで会議に参加して情報共有するよう努めています。
	⑺	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	0	0	・送迎時を中心に伝え合っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか。	13	0	0	0	・初回の契約時に説明している。
	㉑	「放課後等デイサービス支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	0	0	・半年に1回保護者に計画を確認してもらい、同意を得ている。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか。	13	0	0	0	・送迎の受け入れや顔を合わせる機会や電話の相談、面談等の時に行っている。 ・相談があった場合には適切な職員が助言や支援を行う様にしている。 ・アンケートや座談会を行なった。
	㉓	家族会の活動を支援し保護者同士の連携を支援しているか。	11	2	0	0	・県央は、家族会の活動が少ないが、在宅児の集まりなどで交流し、連携あり。 ・コロナが落ち着いてきたので従来通り進めていく必要がある。 ・コロナ禍において家族会の活動自体が少ない。今年度はケアステーション県央独自の保護者の座談会を開いた。
	㉔	子どもや保護者から相談や申し入れがあった際には迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	0	0	・利用児本人からの聞き取りは難しいが、気持ちをなるべく汲み取れるよう心掛けている。保護者から相談等があればすぐに対応している。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	0	0	・毎月、おたよりを発行している。
	㉖	個人情報に十分注意しているか。	13				・注意して取り扱っている。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13				・利用児の意思をなるべく汲み取るよう心掛け、保護者は送迎時や連絡帳を通して情報伝達をしている。 ・主に保護者と話している。情報伝達にも配慮す
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	3		・コロナ禍になってからは、地域交流が出来ていない。散策の活動中で近隣住民には挨拶を交わしている。 ・コロナが5類に移行になったが、地域住民を招待するまでには至っていない。 ・コロナ禍から5類になり、在宅行事で寺泊の買い物など行った。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1		
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、その他必要な訓練を行っているか。	13				・火災想定年2回、水害対応を1回行った。 ・定期的に避難訓練を行っている。
㉛		事前に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13				・事前に確認し、受け入れている。
㉜		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13				・外部の研修会に代表職員が参加、それをもとに年一回全職員に伝達研修を開いている。
㉝		やむを得ず身体拘束を行う場合には子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13				・事前に十分な説明を行い、同意を得ている。計画書にも記載している。
㉞		食物アレルギーのある子どもについて、配慮されているか。	13				・施設で提供する宅配弁当はアレルギー対応ができず、該当者は保護者から弁当を準備していただいている。
㉟		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	13				・作成し共有している。